

2025年（令和7年）7月22日（火曜日）

スポニチ 福島

＜福島成蹊・会津北嶺＞
会津北嶺は8回に渡部が
勝ち越し打を放つ



会津北嶺

第2試合 11時30分

▽準々決勝（ヨロク開成山）

会津北嶺	001 000 005 00
福島成蹊	100 000 010 00
スコア	36

（会）関根、小林、井川
（福）遠藤、菊地、佐藤

▽二塁打：吉田、山本（会）

8回に5点逆転

1点ビハインドで迎えた8回だ。会津北嶺は新垣悠牙（2年）の中前適時打で追いつき、なおも無死満塁で渡部智大（同）に打席が

渡部 勝ち越し打

回った。7回のクリンゲタイムで「ここでいくしかない」と声を上げて意思統一したナイン。そんなベンチの雰囲気の後押しされるように、渡部はストリートを中前にはじき返し勝ち越した。打者10人攻撃で一挙5点。2年ぶり4強の

立役者となった渡部は「勢いで押せた。詰まっていたが抜けてくれてよかった」と殊勲打を振り返った。ベンチ入り20人の中で会津地区出身は渡部を含めて3人。スタメンは渡部だけで「会津魂ではないですが（会津を代表するような）そんな気持ちは持っています」。2年生ながら5番を任されるなどチーム内の信頼は厚い。2年前の夏、4強進出したチームを見て「会津から甲子園に一番近いと思った」と会津北嶺への進学を決めた渡部。「次も勝ちたい」と力を込めた。

4強